

10月4日(日)

綾戸智恵さん講演会

介護体験を通して期待する、仕事としての介護

日時：10月4日(日) 13:30~15:00

場所：桃山学院大学 2号館2-202教室

※参加無料 ※事前申込不要

日本は諸外国に例をみないスピードで高齢化が進行しています。厚生労働省は、団塊の世代(約800万人)が75歳以上となる2025年(平成37年)を目処に、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、地域包括ケアシステムの構築を推進しています。

しかし、要介護者を家族だけで支えることには大きな困難が伴い、地域の支援や福祉・保健・医療の専門職との連携が必要不可欠といえます。利用者のご家族を支え、地域そして専門職との絆を強くする人材を養成するため、2016年度、桃山学院大学 社会福祉学科に介護福祉コースを設置予定です。

今後ますます重要になっていく仕事としての介護について、今回は JAZZ SINGERの綾戸智恵さんに、ご自身の介護体験から介護福祉従事者への期待をお話しいただきます。

※介護福祉士資格課程設置申請中



10月24日(土)

介護福祉コース開設に向けたシンポジウム

だれが担う超高齢社会

～高度専門職としての介護福祉人材養成の在り方～

日時：10月24日(土) 13:30~15:30

場所：桃山学院大学 2号館2-301教室

※参加無料 ※事前申込不要

コーディネーター 根本嘉昭 氏

[神奈川県立保健福祉大学名誉教授/介護福祉士国家試験委員長]

シンポジスト① 古都賢一 氏「介護福祉人材の未来」

[独立行政法人国立病院機構副理事長/前:厚生労働省大臣官房審議官(賃金・社会・援護・人道調査担当)]

シンポジスト② 上野谷加代子 さん「地域福祉を担う専門職として介護福祉に期待すること」

[日本地域福祉学会会長/社会福祉士養成校協会副会長/同志社大学教授]

主催：桃山学院大学学長室



桃山学院大学
St. Andrew's University